



平成22年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジャステック

コード番号 9717 URL <http://www.jastec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 昇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務経理本部本部長 (氏名) 柴山 泰生

TEL 03-3446-0295

四半期報告書提出予定日 平成22年9月30日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年11月期第3四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第3四半期	6,093	△22.3	45	△53.5	410	102.6	127	—
21年11月期第3四半期	7,845	—	97	—	202	—	△293	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年11月期第3四半期	7.35	7.35
21年11月期第3四半期	△16.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年11月期第3四半期	13,741	11,859	86.1	686.38
21年11月期	14,364	12,435	86.4	704.28

(参考) 自己資本 22年11月期第3四半期 11,828百万円 21年11月期 12,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年11月期	—	0.00	—	30.00	30.00
22年11月期	—	0.00	—	—	—
22年11月期 (予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,443	△15.9	△53	—	560	136.9	232	—	13.39

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
 新規 一社（社名 ）、 除外 一社（社名 ）
 （注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
 （注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 （注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年11月期3Q	18,287,000株	21年11月期	18,287,000株
② 期末自己株式数	22年11月期3Q	1,053,336株	21年11月期	663,216株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	22年11月期3Q	17,351,216株	21年11月期3Q	17,623,870株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
【第3四半期連結会計期間】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の世界経済は、欧州を中心とした海外経済の下振れ懸念により、持ち直しつつあった景気に不透明感が増し、予断を許さない状況が続きました。

一方、日本経済は、輸出の回復などにより一部企業に業績改善が見られるものの、雇用・所得環境は依然として低調に推移し、為替のさらなる円高基調もあいまって、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、企業集団は、業績回復が見込まれる分野への受注提案および景気後退局面で先送りされた案件の掘り起こしなどに注力いたしましたが、情報化投資の回復遅れを受けて、売上高は前年同期を下回りました。

利益面においては、のれんの償却が前連結会計年度第2四半期で終了したことにより販売費及び一般管理費が減少したこと、ならびに投資有価証券償還益などの発生により、四半期純利益は黒字転換いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高および連結利益は、次のとおりとなりました。

	金額(百万円)	売上高比率(%)	前年同期比	
			増減額(百万円)	増減率(%)
連結売上高	6,093	100.0	△1,752	△22.3
連結営業利益	45	0.7	△52	△53.5
連結経常利益	410	6.7	207	102.6
連結四半期純利益	127	2.1	421	—

事業の種類別セグメントの業績は、以下のとおりであります。

事業の種類別セグメント		金額(百万円)	売上高比率(%)	前年同期比	
				増減額(百万円)	増減率(%)
ソフトウェア開発事業	売上高	5,938	100.0	△1,769	△23.0
	営業利益	171	2.9	△312	△64.5
システム販売事業	売上高	154	100.0	16	12.1
	営業損失(△)	△126	△81.8	260	—

(ソフトウェア開発事業)

金融・保険業向けの大型案件の開発が次案件との狭間を迎えていることおよび全般的な情報化投資の縮小に伴い、売上高は前年同期より17億69百万円(23.0%)減少し、59億38百万円となりました。また、売上高の減少およびそれに伴う固定費比率の増大などにより営業利益は前年同期より3億12百万円(64.5%)減少し、1億71百万円となりました。

なお、ソフトウェア開発事業の営業利益の前年同期との差額分析は以下のとおりであります。

	金額(百万円)	対売上高比率(%)
営業利益の増減額	△312	△5.3
(増減分析)		
売上高の変動による増減額	△111	△1.9
外注比率の変動による増減額	△136	△2.3
社内開発分の原価率の変動による増減額	168	2.8
外注分の原価率の変動による増減額	△12	△0.2
販売費・一般管理費比率の変動による増減額	△222	△3.7
合 計	△312	△5.3

(システム販売事業)

前年同期と比較して受注が増加し、売上高は前年同期より16百万円(12.1%)増加して、1億54百万円となりました。また、のれんの償却が前連結会計年度第2四半期までで終了したことにより販売費及び一般管理費が減少し、営業損失は前年同期より2億60百万円改善(前年同期営業損失額 3億86百万円)して、1億26百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産は137億41百万円と前連結会計年度末より6億22百万円減少いたしました。これは主として売上高減に伴う売掛金の減少および配当金の支払などに伴う現金及び預金の減少によるものであります。

負債は18億82百万円と前連結会計年度末より46百万円減少いたしました。これは主として前期下期の賞与支給に伴う未払金の減少によるものであります。

純資産は118億59百万円と前連結会計年度末より5億75百万円減少いたしました。これは、主として配当金の支払に伴う利益剰余金の減少および自社株買いに伴う自己株式の増加によるものであります。なお、自己資本比率は86.1%と前連結会計年度末より0.3ポイント減少いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2億11百万円の増加となり、前連結会計年度末（平成21年11月30日）の資金残高28億70百万円を受け、当第3四半期末の資金残高は30億81百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は4億93百万円の増加となりました。この増加は、主として税金等調整前四半期純利益、売上高減に伴う売上債権の減少額および賞与引当金の増加額などの資金増加要因が、未払賞与の減少額などの資金減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、資金は4億25百万円の増加となりました。この増加は、主として有価証券の満期償還による増加要因が、普通預金（現金同等物）から長期預金への預け替えによる減少要因を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、資金は6億92百万円の減少となりました。この減少は、主として配当金の支払および自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の世界経済は、財政不安に伴う景気回復への鈍化懸念から先行き不透明な状況が予測され、日本経済が本格的に回復するには、相当の時間がかかるものと思われま

す。企業集団の通期の連結売上高および連結利益は、現時点において、平成22年11月期第2四半期決算短信（平成22年6月30日）にて公表した修正計画を達成して推移しておりますが、引き続き景気動向など予断を許さない状況であります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断については、前連結会計年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測およびタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

受注制作のソフトウェア等に係る収益の計上基準の変更

ソフトウェアの請負契約に係る収益の計上基準については、従来、長期請負契約(契約期間1年超)の収益計上については業務進行基準を、その他の請負契約については業務完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)および「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より適用し、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間に着手した契約から、当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間においては、工事進行基準を適用する契約がなかったため、この変更による当第3四半期連結累計期間の売上高および損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,383,048	1,572,431
売掛金	502,796	1,042,804
有価証券	3,517,352	2,244,201
仕掛品	754,279	658,669
その他	433,752	464,307
貸倒引当金	△8,243	△3,280
流動資産合計	6,582,986	5,979,135
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	127,607	125,002
その他（純額）	51,299	63,610
有形固定資産合計	178,906	188,613
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	4,709,256	6,272,336
長期預金	353,920	—
繰延税金資産	865,737	884,129
敷金	220,366	219,166
保険積立金	618,944	616,144
その他	59,791	39,432
貸倒引当金	△885	△885
投資その他の資産合計	6,827,131	8,030,325
固定資産合計	7,158,835	8,385,175
資産合計	13,741,821	14,364,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	63,217	88,590
短期借入金	133,743	50,856
リース債務	54,344	56,035
未払金	274,065	861,556
未払法人税等	116,380	—
プログラム保証引当金	6,387	7,773
賞与引当金	255,170	—
受注損失引当金	3	1,910
その他	158,521	82,001
流動負債合計	1,061,835	1,148,723
固定負債		
リース債務	74,360	70,076
退職給付引当金	169,897	160,154
役員退職慰労引当金	575,310	549,477
その他	1,170	667
固定負債合計	820,738	780,375
負債合計	1,882,574	1,929,099

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,238,688	2,238,688
資本剰余金	2,118,332	2,118,332
利益剰余金	8,377,679	8,778,870
自己株式	△651,953	△454,335
株主資本合計	12,082,745	12,681,556
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△269,704	△287,528
為替換算調整勘定	15,865	17,974
評価・換算差額等合計	△253,838	△269,554
新株予約権	30,340	23,209
純資産合計	11,859,247	12,435,211
負債純資産合計	13,741,821	14,364,310

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
売上高	7,845,642	6,093,078
売上原価	6,206,730	4,570,246
売上総利益	1,638,912	1,522,832
販売費及び一般管理費	1,541,267	1,477,403
営業利益	97,644	45,428
営業外収益		
受取利息	3,331	2,756
受取配当金	12,794	12,058
有価証券利息	95,226	80,484
保険配当金	12,740	15,453
投資有価証券償還益	—	158,920
雇用調整助成金	47,285	164,416
その他	11,078	15,597
営業外収益合計	182,456	449,687
営業外費用		
支払利息	2,256	1,676
為替差損	29,683	38,309
投資有価証券投資損失	35,533	26,472
その他	10,055	18,179
営業外費用合計	77,528	84,637
経常利益	202,572	410,478
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,241	1,822
固定資産売却益	400	—
特別利益合計	4,641	1,822
特別損失		
固定資産除売却損	2,945	—
投資有価証券評価損	362,045	—
投資有価証券清算損	—	8,333
過年度損益修正損	—	32,600
特別損失合計	364,991	40,933
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157,777	371,367
法人税、住民税及び事業税	230,600	249,000
法人税等調整額	△94,716	△5,154
法人税等合計	135,883	243,845
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△293,660	127,522

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年6月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年8月31日)
売上高	1,808,327	1,881,310
売上原価	1,430,105	1,404,672
売上総利益	378,221	476,638
販売費及び一般管理費	484,327	573,907
営業損失(△)	△106,105	△97,269
営業外収益		
受取利息	462	1,298
受取配当金	11,017	10,422
有価証券利息	27,489	23,134
投資有価証券償還益	—	158,920
雇用調整助成金	41,854	110,513
その他	6,176	1,268
営業外収益合計	87,000	305,557
営業外費用		
支払利息	782	581
為替差損	2,839	38,430
投資有価証券投資損失	17,552	13,159
その他	4,485	11,845
営業外費用合計	25,659	64,016
経常利益又は経常損失(△)	△44,765	144,271
特別利益		
貸倒引当金戻入額	763	559
固定資産売却益	400	—
特別利益合計	1,163	559
特別損失		
固定資産除売却損	1,200	—
投資有価証券評価損	8,130	—
過年度損益修正損	—	32,600
特別損失合計	9,330	32,600
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△52,932	112,230
法人税、住民税及び事業税	17,000	140,500
法人税等調整額	△4,353	△46,633
法人税等合計	12,646	93,866
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△65,579	18,364

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△157,777	371,367
減価償却費	176,158	110,071
のれん償却額	166,825	—
株式報酬費用	11,213	7,130
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,231	1,546
プログラム保証引当金の増減額(△は減少)	△1,468	△1,386
受注損失引当金の増減額(△は減少)	7,980	△1,906
賞与引当金の増減額(△は減少)	305,610	255,170
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,746	9,742
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△104,520	25,832
受取利息及び受取配当金	△129,766	△110,752
支払利息	2,256	1,676
固定資産除売却損益(△は益)	2,545	—
投資有価証券売却損益(△は益)	279	—
投資有価証券評価損益(△は益)	362,045	—
投資有価証券清算損益(△は益)	—	8,333
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△158,920
過年度損益修正損益(△は益)	—	32,600
売上債権の増減額(△は増加)	1,471,161	539,779
たな卸資産の増減額(△は増加)	246,680	△128,210
仕入債務の増減額(△は減少)	△305,779	△25,345
未払賞与の増減額(△は減少)	△563,234	△560,617
その他の資産の増減額(△は増加)	△59,423	△114,303
その他の負債の増減額(△は減少)	△196,954	64,806
その他	45,028	65,043
小計	1,294,376	391,658
利息及び配当金の受取額	125,422	122,127
利息の支払額	△3,128	△2,304
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△605,174	△18,426
営業活動によるキャッシュ・フロー	811,495	493,055

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有価証券の償還による収入	350,000	800,000
有形固定資産の取得による支出	△27,985	△9,440
有形固定資産の売却による収入	2,015	—
無形固定資産の取得による支出	△51,084	△45,938
投資有価証券の取得による支出	△238,091	—
投資有価証券の売却による収入	7,794	—
長期預金の預入による支出	—	△363,640
貸付金の回収による収入	1,114	814
敷金の差入による支出	△2,764	△1,995
敷金の回収による収入	4,794	210
保険積立金の積立による支出	△203,624	△3,639
保険積立金の解約による収入	—	25,407
その他投資による支出	—	△21,071
その他	68,189	44,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	△89,642	425,146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	480,000	390,000
短期借入金の返済による支出	△390,596	△306,553
自己株式の取得による支出	△41	△197,618
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△55,535	△48,379
配当金の支払額	△522,378	△530,425
財務活動によるキャッシュ・フロー	△488,552	△692,977
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,264	△13,583
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	194,036	211,640
現金及び現金同等物の期首残高	2,711,430	2,870,280
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,905,466	3,081,921

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	システム 販売事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,707,853	137,789	7,845,642	—	7,845,642
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,707,853	137,789	7,845,642	—	7,845,642
営業利益 (又は営業損失△)	484,605	△386,961	97,644	—	97,644

(注) 1 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、(社)情報サービス産業協会が公表した「情報サービス産業における有価証券報告書の記載モデル」に基づいております。

2 各事業の主な内容

(1) ソフトウェア開発事業

一括請負契約に基づき、情報システムの企画提案から要件定義、開発・構築、運用に至るまでのシステム構築に係わる一切を総合したソフトウェア製品の製造販売を行う事業であります。

(2) システム販売事業

不特定多数のユーザー向けに開発したソフトウェア製品の販売を行う事業であります。

3 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、システム販売事業の営業損失が166,825千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	システム 販売事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,938,581	154,497	6,093,078	—	6,093,078
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,938,581	154,497	6,093,078	—	6,093,078
営業利益 (又は営業損失△)	171,813	△126,384	45,428	—	45,428

(注) 1 事業区分の方法

事業の種類別セグメントは、(社)情報サービス産業協会が公表した「情報サービス産業における有価証券報告書の記載モデル」に基づいております。

2 各事業の主な内容

(1) ソフトウェア開発事業

一括請負契約に基づき、情報システムの企画提案から要件定義、開発・構築、運用に至るまでのシステム構築に係わる一切を総合したソフトウェア製品の製造販売を行う事業であります。

(2) システム販売事業

不特定多数のユーザー向けに開発したソフトウェア製品の販売を行う事業であります。

② 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	仏国 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,710,584	41,370	93,687	7,845,642	—	7,845,642
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17,364	23,193	40,557	(40,557)	—
計	7,710,584	58,735	116,880	7,886,200	(40,557)	7,845,642
営業利益 (又は営業損失△)	479,967	△326,474	△55,848	97,644	—	97,644

(注) 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、米国の営業損失が166,825千円増加しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	仏国 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,942,077	20,163	130,837	6,093,078	—	6,093,078
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	9,313	9,313	(9,313)	—
計	5,942,077	20,163	140,151	6,102,391	(9,313)	6,093,078
営業利益 (又は営業損失△)	171,560	△96,870	△29,261	45,428	—	45,428

③ 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年12月1日 至 平成21年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

海外売上高が、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。